

平成24年度
調布市武者小路実篤記念館運営事業団
事業計画書

＜はじめに＞

調布市武者小路実篤記念館（以下、実篤記念館）は、本年、開館から27年を迎えます。これまでの展示、資料収集、普及事業、情報提供、調査・研究などの成果を踏まえ、「武者小路実篤の業績を顕彰し、広く市民の教養、文化の向上に寄与するため」という設立目的に基づき多彩な事業活動を展開してまいります。

調布市武者小路実篤記念館運営事業団は平成4年1月に設立されてから実篤記念館の事業活動全般を受託し、武者小路実篤の業績を顕彰するとともに、現代において彼の作品や活動の魅力を改めて見直し、世代を超えて多くの方々に親しんでいただくために、展示・普及事業を中心に展開し、各方面より高い評価をいただいております。本年度も引き続き、調布市の委託業務を中心にしつつ、施設管理の面についても実篤記念館に協力し、これまでの実績と来館者等の声なども参考にしながら、事業内容の創意工夫を重ね、より一層充実した運営を心掛けてまいります。

また、所蔵作品や資料という貴重な財産を後世に伝えるために、資料の整備・保存の作業を進め、収蔵品データベースの充実をはかるとともに、平成24、25年度、2カ年にわたり情報提供システムのリニューアル作業に取り組みます。

ミュージアムグッズ販売事業では、来館者の要望に応えるグッズ内容の充実を図るとともに、自主財源を増やすことにより、自主事業のさらなる充実を進めてまいります。また、「ぐるっとパス2012」事業を市より受託し、この事業を通して実篤記念館事業を周知し、広報の充実に取り組みます。

当事業団の運営にあたっては、設置理念、事業内容の充実を達成するために必要な組織、効率的かつ円滑な運営を目指して、引き続き経営改善を図り、平成25年4月の法人化をめざし、準備作業を重点的に取り組んでまいります。

＜展示事業＞

事業活動の中心となる「展示」事業については、これまで同様に関係機関、協力者等との協力をさらに深めながら、年2回の特別展と6回の企画展を開催し、いつでも新しい発見がある展示作りをめざします。

特別展では、春に＜「手紙に見る 実篤への思い」～岸田劉生・長与善郎・千家元麿～＞を、秋には＜「本の美」～装幀と挿絵～＞を開催いたします。また、企画展では、幅広い武者小路実篤の活動を紹介してゆくために多角的なテーマを設け、あわせて実篤記念館の充実した収蔵品を紹介する展示を開催してまいります。

また、来館者に対して展示や施設に関するアンケートを実施し、来館者の意見を取り入れながら、満足度の高い事業を提供すべく取り組んでゆきます。

＜普及事業＞

「普及」事業では、特別展パンフレット（有料）や子供向け解説シートの編集、講演会に加え、少人数を対象とした各種講座を開催し、武者小路実篤を核とした特色ある事業として幅広い世代に対し良質な普及事業を提供し、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場、また市民の誇りとなるような事業展開をしてまいります。

来館者よりの要望が高い、展示解説の開催や団体解説の内容を充実させ、武者小路実篤への理解を深める機会として取り組んでまいります。

学校教育との連携では、市内小・中学校に実篤に関する資料・情報を提供するとともに、職場体験の受入れなどを引き続き進めてまいります。さらに、実篤記念館が持つ文学、美術、自然、情報など様々な要素を活用して、小・中学生を対象とした「調べ学習」「創作」「芸術鑑賞」を中心としたキッズプログラムの充実に取り組み、実篤や記念館に親しむ機会を増やします。事業を通して、子供たちが多様な体験をすることにより、幼い頃から芸術・文化に触れて感性を磨き、自身で考える力、豊かな心の育成に努めてまいります。

平成14年度より市民、地域との連携を計る協力ボランティア養成に取り組み、現在、この活動は幅広い普及活動を展開する上で大きな力となっております。24年度は引き続き、ボランティアが中心となり実篤記念館・公園（旧実篤邸を含む）のガイドツアーやの歴史散歩を実施します。また、活動をより充実させるための研修会の開催、

組織や環境の整備を図り、ともに地域の教養向上のために積極的に活動を進めてまいります。

普及事業の運営方法は、事業の充実が望まれる講座については、参加者に講師料など応分の負担をしていただく方法を取り入れ、今後、利用状況やアンケート調査の結果などをもとに、さらに事業運営の検討を進めてまいります。

＜資料の収集・保存事業＞

「資料収集」では、実篤記念館が事業の充実を図るために必要に応じて美術作品、原稿、書簡類、図書など関係資料を収集しておりますが、事業団では引き続き収集に関する各種情報を集め実篤記念館へ購入の提案をしてまいります。

「資料の整理・保存」事業では、収集された作品・資料を速やかに整理し、収蔵品データベースへの入力作業を進め、良好な状態で保存し、後世に貴重な作品・資料を伝えるように努め、収蔵品をより活用できるように積極的に取り組んでまいります。

さらに、収蔵作品・資料の適切な保存・管理を図るために、保存・記録作業、作品の修復作業、資料の複製制作を計画的に実施いたします。

また、24年度は収蔵環境調査が実施されることから、作業に協力してまいります。

＜閲覧・情報公開事業＞

「閲覧」業務については、より多くの方に利用していただくように、開架図書を中心として展覧会や事業にあわせた図書紹介など、資料の充実と活用の促進を計り、さらに実篤関連情報に関するレファレンス業務を行い、一層のサービス向上に努めます。

「情報公開」事業については、25年度の情報提供システムの全面的な機器入替に向け、リニューアル作業を2カ年にわたり取り組む。

平成24年度は、来館者の利便性に一層寄与するシステムにするべく、内容面での検討を行うとともに、社会的なシステム環境を配慮した、より安定的なシステム構成に進化させることを目的に、「情報提供システム」全般のリニューアルに関して、検討ならびにデータの整備作業を行います。

また、この検討と併せて、平成24年度後半においてホームページの判りやすいメニューの拡充、情報更新の迅速化機能の付加、新し

い端末への対応、財団化を視野に入れた「公式ホームページ」に関する必要なりニューアル作業を実施します。

さらに、より多くの方々に事業や実篤関連情報、事業記録など知っていただくために、ホームページの運営、館報の編集、各方面への積極的な広報活動を行ってまいります。

＜調査・研究事業＞

「調査・研究」活動では、特別展関連及び収蔵資料の調査を実施し、これまでの調査で得た情報を活用し、他の文学館、美術館や研究機関との協力を得ながら、「武者小路実篤、白樺、新しき村」に関する情報センターとしての役割を担うべく、調査・研究活動を進めてまいります。

＜物品販売事業＞

ミュージアムグッズの物品販売事業では、自主財源を増やすとともに、引き続き会計の透明化に努め、その収益は、自主事業（朗読会、講座など）の充実や、魅力あるミュージアムグッズづくりにあて、普及事業の更なる充実をサポートしてまいります。

＜その他事業＞

友の会は、記念館と来館者を結ぶ組織であり、会員の増強と一層の充実に努め、会員に関連情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行するほか、友の会主催事業にも取組み、事務局を引き続き担当してまいります。

＜事務事業＞

平成25年4月の法人化に向け、法人化手続き事務、組織の確立、執務機器類の整備などを重点的に取り組みます。

引き続き、公益法人会計に準拠した会計方式を取り入れ、財務情報の透明化を図り、事業内容や経営状況をホームページ等でわかりやすく公表するように努めてまいります。

市より公金収納業務を引き続き受託し、窓口業務の効率化、サービスの向上を計ります。

平成24年度
調布市武者小路実篤記念館運営事業団
事業計画書概要

1. 展示事業

- (1) 特別展 年2回
 - ・春 「手紙に見る 実篤への思い」
～岸田劉生・長与善郎・千家元麿～
 - ・秋 「本の美」～装幀と挿絵～
- (2) 企画展 年6回
- (3) 資料館 展示コーナー 年8回展示替え
※別紙 「展覧会日程」のとおり
- (4) 来館者アンケートの実施
 - ・展覧会及び館内施設に関する、来館者アンケートを実施し、今後の事業に取り入れてゆく。

2. 普及事業

- (1) 講演会、講座等の実施
 - ・武者小路実篤やその活動をテーマとした記念講演会を開催。
 - ・好評の読書講座、美術講座、自然観察会などを開催し、アンケート調査結果を参考に、受講者の開拓、事業内容の充実を図る。
 - ・充実が望まれる講座については、参加者が講師料など応分の負担をしていただく運営として実施する。
 - ・展示解説を展覧会ごとに開催。団体解説、ガイドツアーとあわせて利用者の要望に応える。
 - ・朗読会を自主事業として開催する。
- (2) 学校教育との連携
 - ・子供向け解説シートの作成と配布
 - ・夏休み講座の充実、親子参加事業の開催
「調べ学習」「創作」「芸術鑑賞」などのキッズプログラムの充実
 - ・学校図書館への実篤関連資料や情報の提供
 - ・鑑賞教育、職場体験や訪問など学校事業への協力。
- (3) 生涯学習活動への対応
 - ・文学散歩などのサークル活動、団体利用者に対する展示解説などの普及活動を行う。
- (4) ボランティア活動の充実
 - ・協力ボランティアの活動を発展、充実させ、活動してゆくための様々な環境を整備する。
 - ・ボランティアが中心となるガイドツアーや文学・歴史散歩などの普及事業を実施する。

- ・実篤公園の草花の育成や暦づくりなどの活動を充実させる。
- ・協力ボランティアのステップアップのための研修を開催。
- (5) 印刷物の編集
 - ・特別展パンフレットの編集
- (6) 広報活動
 - ・特別展ポスター、チラシ、展示案内の作成、配付
 - ・企画展、講座等の開催ミニポスター、チラシの作成、配付
 - ・「武者小路実篤記念館報」（年2回）の編集、配付
 - ・実篤記念館ホームページの運用と情報の充実
事業情報を定期的に更新し、コンテンツや情報の充実をはかる。
 - ・調布市市報等への情報提供
 - ・報道機関への情報提供と各種取材への対応
- (7) ぐるっとパス事業
 - ・東京の美術館・博物館等共通入館券実行委員会「ぐるっとパス2012」に参加し、展覧会や事業の広報、普及に努める。
- (8) 他機関への事業協力等
 - ・主として展示、調査研究活動を通して、他機関の事業活動に協力し、実篤、記念館事業の普及に努める。

3. 資料収集・保存事業

- (1) 資料の収集
 - ・書画、原稿、書簡、図書、雑誌、写真、映像音声資料、その他関連資料の収集のために情報を集め、調布市へ提案する。
- (2) 資料の整理・保存
 - ・収蔵された資料を整理し、良好な状態で保存する。
 - ・収蔵資料の細かな点検を行い、状態を把握する。
 - ・収蔵品や関連資料の記録撮影、写真パネル等を整備する。
 - ・収蔵庫、展示室等の環境調査に協力する。
- (3) 記録映像
 - ・実篤作品への理解を深めるために、文学作品1作をテーマとした鑑賞のための映像作品を制作する。
 - ・映像視聴システム、収蔵品データベースで映像を提供するための整備作業を行う。
- (4) 所蔵作品・資料等の修復、複製制作等
 - ・所蔵品資料の適切な保存管理をはかるため、資料状態の把握に努めるとともに、計画的に修復作業を進める。あわせて、実篤関連の貴重資料の複製を制作し、展示事業に活用する。
- (5) 収蔵品データベースの充実
 - ・実篤記念館が収蔵する作品・資料、実篤に関する情報の入力作業を進め、収蔵品データの充実を図るとともに、展覧会、レファレンス業務、収蔵品管理等に活用する。引き続き、未整理収蔵資料

のデータ化、収蔵品情報の充実に努める。

4. 閲覧、情報公開事業

(1) 一般閲覧

- ・ 閲覧室における、閲覧・レファレンス業務、開架図書管理。
- ・ 展示室休室と閲覧室休室が重なる日には、閲覧室を開室し、サービスの向上に努める。

(2) 特別閲覧

- ・ 閉架図書・特別資料の閲覧・レファレンス業務

(3) 情報提供システムの運用

- ・ 文字・画像・映像情報等を収録した情報提供システム（収蔵品データベース、情報閲覧システム、映像視聴システム、ホームページ）を運用し、多岐にわたる情報の公開に努め、利用の促進を計る。

(4) 情報提供システムのリニューアル作業

- ・ 平成25年度の情報提供システムの全面的な機器入替に向け、システム全体のリニューアル作業を2カ年にわたり取り組む。
- ・ 平成24年度は来館者の利便性に一層寄与するシステムにするべく、内容面での検討を行うと共に、社会的なシステム環境を配慮した、「情報提供システム」全般のリニューアルに関して、検討とデータの整備に取り組む。
- ・ 「公式ホームページ」のリニューアル
情報提供システムのリニューアル検討をもとに、ホームページの判りやすいメニューの拡充、情報更新の迅速化機能の付加、新しい端末への対応、法人化を視野に入れたリニューアル作業を実施。

5. 調査・研究事業

「実篤、白樺、新しき村」の情報センターとしての役割を担うために、特別展に関わる調査のほか、武者小路実篤、関連作家、収蔵品を中心に調査・研究及び情報の収集に取り組む。

また、実篤の作品発表に関する情報を集め、記録し、作品リストの充実に図る。

平成24年度は大学より客員研究員を受け入れ、研究活動を通して、武者小路実篤研究の専門性をより高めるために積極的に取り組む。

6. 物品販売事業

ミュージアムグッズの物品販売事業に取り組み、自主財源を増すとともに、引き続き会計の透明化に努める。

これらの収益は、自主事業（朗読会、講座など）の充実や、魅力あるミュージアムグッズづくりにあて、普及事業をサポートする。

7. その他事業

- (1) 友の会
 - ・事務局を担当
 - ・友の会平成24年度事業予定
 - ～友の会ニュースの発行（隔月）
 - ～会員の交流会（観梅会）の開催
 - ＊地域連携事業として、桐朋学園等と協力したコンサートを実施
- (2) 博物館学芸員実習の受け入れ
 - ・公共機関の役割を担う記念館において、博物館施設及び学芸員の役割に対する理解を深めるための機会を提供する。
実施期間：7月27日～8月3日 受け入れ人数：若干名
- (3) 写真貸出・特別撮影への対応
 - ・出版及び展覧会等への写真提供に関する貸出作業、資料等の撮影に対応する（有料）。
- (4) 広告料の確保
 - ・案内看板下部に広告をとることにより、自主財源の確保を図る。

8. 施設関係

- (1) 窓口業務、休憩施設の運営
 - ・実篤記念館の受付窓口業務
 - ・休憩コーナー（給茶設備）の管理運営
- (2) 実篤記念館施設管理への協力
 - ・実篤記念館施設の日常管理への協力
- (3) 実篤公園施設の活用
 - ・実篤公園の日常管理への協力
- (4) 旧実篤邸の保存
 - ・旧実篤邸公開、管理への協力

9. 事務事業

- (1) 財団化準備作業
 - 平成25年4月の法人化をめざし、法人化手続き事務、組織の確立、執務機器類の整備などを重点的に実施する。
- (2) 公金収納業務
 - 入館料、市頒布品の販売及び収納業務を市から受託し、実施する。
- (3) 会計事務ほか
 - 公益法人会計に準拠した会計方式を取り入れ、財務情報の透明化を図るとともに、事業内容や経営状況をホームページ等で公表する。

＜平成24年度 展覧会日程＞ (案)

(2012.4～2013.3)

◎春季展「自筆原稿の魅力」

会期：3月10日（土）～ 4月15日（日）

◎春の特別展「手紙に見る 実篤への思い」

～岸田劉生・長与善郎・千家元麿～

会期：4月28日（土）～6月3日（日）

◎企画展「かお」～肖像と表情～

会期：6月16日（土）～7月16日（月・祝）

◎夏休み企画「もっと知りたい 武者小路実篤」

会期：7月21日（土）～9月2日（日）

◎秋季展「美を求めて」～実篤コレクションから～

会期：9月8日（土）～10月14日（日）

◎秋の特別展「本の美」～装幀と挿絵～

会期：10月27日（土）～12月2日（日）

◎企画展 「写真から読み解く 実篤とその時代」

会期：12月15日（土）～1月20日（日）

◎企画展 「もう一步」～実篤の詩と書～

会期：1月26日（土）～3月3日（日）

◎春季展 「ポスターに見る 実篤文学作品」

会期：3月9日（土）～4月14日（日）

<平成24年度 展示室休室日>

平成24年

4月17,18,19,20,21,22, 24,25,26,27日

6月5,6,7,8,9,10,12,13,14,15日

7月18,19,20日

9月4,5,6,7日

10月16,17,18,19,20,21, 23,24,25,26日

12月4,5,6,7,8,9, 11,12,13,14日

平成25年

1月22,23,24,25,日

3月5,6,7,8日

<平成24年度 閲覧室休室日>

平成24年

4月5,12日

5月10,17,24,30,31日

6月21,27,28日

7月5,12,25,26日

8月2,9,16,23,29,30日

9月13,20,26,27日

10月4,11,31日

11月1,8,15,22,28,29日

12月20,26,27日

平成25年

1月10,17,30,31日

2月7,14,21,27,28日

3月14,21,27,28日